

神明中学校校舎改築中高層紛争予防条例説明会議事要旨

1 開催日時、場所

開催日時 令和5年8月18日(金) 18:30~19:55

場 所 神明中学校 体育館

2 出席者

区側	施設整備担当課長、防災課長、学校整備課長、神明中学校長、(株)佐藤総合計画 営繕係長、防災担当係長、教育施設計画推進担当係長、営繕課営繕係、営繕課電気設備係、営繕課機械設備係、防災課、学校整備課
近隣住民等	15名

3 説明項目

【建設計画について(資料)】

- ・施設整備担当課長より建設計画及び施設の概要について説明を行った。
- ・(株)佐藤総合計画より建設計画及び施設について詳細な説明を行った。

4 質疑応答

番号	質疑	回答
1.	仮設校舎の工事についての説明会はいつあるのか。	【教育施設計画推進担当係長】 10月頃を予定している。決まり次第、近隣の方へ周知する。
2.	以前にも要望を伝えたが、家の近くに仮設校舎が建つので、プライバシーに配慮してほしい。	【教育施設計画推進担当係長】 要望については、仮設校舎の設計担当に伝えている。対応の可否については、運用面も含め検討する。
3.	東側の一部と北側に植栽がないところがある。土埃の問題やプライバシーに配慮するため、樹木を植えることはできないのか。	【教育施設計画推進担当係長】 植栽は、令和10年度に実施予定の環境整備工事で行う予定である。 東側の一部の既存植栽がない部分は、中木や高木等を植える予定である。 北側は、栽培園を整備したうえで、樹木を植えられるスペースには中木等を植える予定である。
4.	校庭の砂埃に悩まされている。改築	【教育施設計画推進担当係長】

	を契機に改善してほしい。	<p>現在より飛散しにくい土系の舗装を検討している。</p> <p>また、防砂ネットについては、北側は約4m、東側と南側は約1.5mのものを設置する予定である。</p>
5.	野球のボールが飛んでくる。防球ネットはどのようになるのか。	<p>【教育施設計画推進担当係長】</p> <p>現状より高い約15mの防球ネットを整備する予定である。</p>
6.	工事中の車両の動線について説明してほしい。	<p>【施設整備担当課長】</p> <p>現時点では、北側の八丁通りからまっすぐ南下し、学校敷地の北側ないし南側から車両が入ることを想定している。場合によっては、東側も通る可能性はあるが、極力住宅地を避ける形で想定している。詳細は、工事請負者が決まったら、お知らせする。</p>
7.	今回の説明会と前回（6月開催）の説明会の違いは何か。	<p>【施設整備担当課長】</p> <p>今回の説明会は、下記の2つの説明を兼ねている。</p> <p>1 中高層建築物の建築紛争の予防と調整に関する条例</p> <p>この地域は第一種低層住居専用地域に軒の高さが7mを超える建築物又は、階数が3階以上の建築物になった場合、計画建物の2倍の範囲内の方などに説明ないし周知することとなっている。</p> <p>2 建築基準法第55条第3項第二号による建築物の高さの許可</p> <p>この地域は、原則10mを超える高さの建築物を建てることができないが、学校については許可を取ることによって建てることとなる。今回、その許可を取るうえで、近隣の方へ周知と説明をすることが義務付けられている。</p>
8.	学校をつくっていく上で、コンセプトが何だったのか。説明会の冒頭で説明すべきではないか	<p>【施設整備担当課長】</p> <p>前回説明しているが、説明会に初めて来る方もいるので、次回以降の進め方については検討する。</p>

9.	<p>将来の学級数の想定は。 今年度の生徒数は251人だが、これだけの規模や高さの施設が必要なのか。</p>	<p>【学校整備課長】 現在のところ、改築後、生徒数は300人程度で推移する推計となっている。 時代とともに教育内容も変わっており、特別教室や以前なかったような教室を整備することを踏まえると一定規模が必要となる。</p>
10.	<p>配置はどのように検討したのか。また、改築にあたって住民の参加はあったのか。</p>	<p>【教育施設計画推進担当係長】 昨年度、学校関係者や地域の方などで構成する校舎改築検討懇談会を9回開催し、多角的な角度から検討し、総合的に判断し、この配置にまとまった。 配置等について主な理由として、 ①同じ建て方だと、周辺環境の変化が比較的小さいこと、②教室回りのゾーニングが適切であったこと、③他の案と比較して、工期が短いことなどである。 懇談会の資料や議事録は、区役所のHPに掲載している。</p>
11.	<p>地域の人にも利用できる施設などを設計に反映してほしい。</p>	<p>【学校整備課長】 地域の方のために、地域開放会議室や防災倉庫等を設置する計画となっている。 【教育施設計画推進担当係長】 また、将来、子どもの数が減ったことに備え、特別教室を2階、普通教室を3・4階にまとめることで、ゾーニングを明確にし、地域開放しやすい配置にしている。</p>
12.	<p>地域区民センターなどの施設と複合化はできないのか。</p>	<p>【学校整備課長】 地域区民センターなどの施設との複合化を行うほど容積率に余裕の面積が取れないことから設置していない。</p>
13.	<p>体育館や校庭など、空いているときは地域の人たちに開放させるべきだ。</p>	<p>【教育施設計画推進担当係長】 現在も、体育館や校庭は地域の人たちに開放している。</p>
14.	<p>開放団体の使用後にごみが散らかっていることがあるので、気を付けてほしい。</p>	<p>【教育施設計画推進担当係長】 そういった問題があることは所管課に伝え、改めて周知してもらう。</p>

15.	地域のために、災害時のトイレの数や緊急のものも備えるような施設にすれば、地域もすごく助かる。	<p>【教育施設計画推進担当係長】</p> <p>災害時のトイレを確保するため、体育館の北側にマンホールトイレを 10 基設置している。また、プールの水をマンホールトイレの汚物の排水に使えるような仕様になっている。</p>
16.	自転車通学についてどのように考えているのか。	<p>【神明中学校長】</p> <p>現在の学区域は徒歩圏内であるので、安全性も考えて自転車は禁止している。</p>